

FIDIC News July 2012 抄訳

訳責: 国際活動委員会 CB 分科会

この抄訳は若手メンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

A. 活動(FIDIC -Activities)

A.1 FIDIC アフリカ地域会員協会連合会議(GAMA)20周年式典にみるアフリカの活性化(Africa Upbeat as GAMA Celebrates 20th Anniversary)

4月にザンビアで200人もの代表者や訪問者が一同に会し、アフリカのインフラへの投資の増大への試みに触れ、大いなる盛り上がりを見せた。

国際的な会社とのパートナーシップの機会と同様に、地方のコンサルティング業界のためにより多くの機会が提供された。特別式典には FIDIC 会長が参列し、専務理事によって執り行われた。

世界各国から参加した新たな国も含めて、アフリカの 15 カ国の活動的な代表者は、持続的経済発展のための発展的な計画の中で、コンサルティングエンジニアによって重要な規約に着目した。アフリカでは、そのほかにも健康や生活水準、経済成長や教育の改善のために、ミレニアム開発目標を目指しながら、その中で中心となっていくべき人物についても着目していくよう求めた。

GAMA の新しい理事会は Arthur Taute 議長の元、建設需要の重要性を認め、優先順位リストを作成した。彼らはコンサルタント業界の技術的なギャップを認識し対応をしていくために、インフラ発展における地方の専門的知識の重要性を明示し、FIDIC と協力していく。世界銀行やアフリカ開発銀行の代表者もまた、共通の課題に取り組むもっとも身近な協力者となるだろう。



下段右から Aggrey Njekwa リビングストーン市長、Mayen Adetibag GAMA 議長、南地方書記官の Mr. Edwin Zumbunu、その他 GAMA 執行部及び FIDIC 会長

B. 事業展開(Business-Development)

B.1 20周年を祝う EFCA のひかえめな楽観論(Cautious Optimism as EFCA Celebrates 20th Anniversary)

今年の会議のテーマ、「エンジニアリング界を発展させる - 勝利戦略」は最近のヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合(EFCA)の発表「我々の未来は確固たるものになる」に触発されている。

この発表資料は、環境の変化に取り組む企業の思考となる糧、そして今後のビジネスの機会がどこに眠っているか識別するためのガイドンスを提供している。



5月、ポルトガルに、100以上の参加者が集い、加盟企業の将来展望や成長有望分野を見いだし、困難な時代に成長しているビジネスについて議論し、またクライアントの満足度のヒントを共有した。FIDIC の会長 Geoff French (UK)、副会長 Pablo Bueno Tomás (Spain)、理事メンバー Alain Bentéjac (France)、FIDIC 専務理事 Enrico Vink もまた参加した。

競争力は EFCA の優先事項である。EFCA 会長 Jan Bosschem は以下のように述べた。

「我々の業界は、持続可能な成長を育む可能性を秘めています、それは正しく機能している公共インフラの配信のために不可欠な推進力で、民間企業が欧州連合全体の競争力を高めながら革新的な製品を開発するのに役立っています。それ故、欧州の法律と政策が正しいビジネスの風潮を作り出すことが必須です。EFCA は、政治問題にのみ反応することはできません。企業の利益があるか確認するこの議題に影響を与えることが

必要です。私は FIDIC との関係が続くことを期待しています。また、産業の発展に向けた FIDIC と EFCA の関係の促進も同様です」

議題の中で、FIDIC 理事の Geoff French 氏は、EFCA と (FIDIC の) 緊密な協力関係や産業発展に向けた共通の目標を見出すことに対する意欲を示した (特に調達、持続性、リスク・マネジメントに面において)。

FIDIC Young Professional Steering Committee (YPSC) メンバー Alejandro Varón Tischer 氏は、業界の将来についてのプレゼンテーションをおこない、EFCA と FIDIC との間での緊密な関係は YP レベルでも確認された。

YP メンバーとその企業への相互利益の取組みに EFCA と FIDIC 両方の YPSC が協力し、2013 年 9 月にバルセロナで FIDIC100 周年イベントの一環として、合同会議を準備することを約束した。

B.2 公正管理システム改定 (Facelift for Integrity Management)

Model Repts Agreement (海外現地エージェントに従事するとき契約は使用することを推奨) のアップグレードについて、FIDIC は、多国間開発銀行を含む幅広い利害関係者と相談した。

この重要な契約は、汚職との闘いの最新動向を考慮している。コンサルティングエンジニアや他の人が地元の専門家が従事されている海外の仕事を引き受けることに対処するための便利なツールを提供すると見られている。

FIDIC 公正管理システム (FIMS) に付属されている文書は、ソウルの FIDIC 世界会議に間に合うように利用できるようになる。

B.3 FIDIC が地域での存在感を強化 (FIDIC Regional Presence Boosted)

2012年5月に東京で開催したFIDIC理事会で、改正地域戦略を決定した。これにより、中東、アフリカ、アジアそして南アメリカにおけるより大きなFIDICの存在感に加えて、ヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合 (EFCA) とのより緊密な協調も期待される。この戦略は、能力開発施策に注目し、地域からの要望に対して、より費用対効果の高い解決策を提供するために地域の認定教官を育てることも目的としている。FIDIC の地域組織だけでなくFIDIC会員協会への指導をおこなっており、国際融資金融機関のような他の主なパートナーリング組織に対して助言もおこなった。



FIDIC の Geoff French 会長と経済産業省の厚木進局長

東京滞在中、FIDIC代表団 (Geoff French会長、Enrico Vink専務理事、廣谷彰彦理事) および日本コンサルティングエンジニア協会 (AJCE) 廣瀬典昭会長は経済開発およびインフラ投資に関与する日本の主な省庁の大臣や高官との会合も持った。業界の目標および国際活動の促進、特にインフラ投資の国内市場影響抑止に関して多数の支持を得た。日本の国際援助機関であるJICAとも有益な会議を持つことができた。JICAはすでにFIDICやこの地域のFIDIC会員協会と、インフラ開発での活動を拡大するなどにも協調をしている。

FIDIC関係者は日本のコンサルタントや発注者とのセミナーにも参加した。このセミナーは海外でのビジネスチャンスだけでなく、市場の変化、業界や日本人コンサルタントが直面している問題を研究するために開かれたものである。

[AJCE] FIDIC会長来日報告、セミナー報告はAJCEホームページ (info@ajce.or.jp) に掲載しております。

B.4 US FIDIC セミナー開催 (Inaugural Launch of US FIDIC Seminar)

FIDIC/IBCユーザー会議の開会式が、10月2日から3日にかけてニューヨークにおいて行なわれる。FIDICの活動管理会社であるIBCの協力を得て、建設部門においてFIDIC国



際基準の認識を高めること、また北アメリカのFIDIC契約約款ユーザーが、彼らの経験を基にFIDIC契約約款シリーズ活用について協議できることを要望している。詳しくはFIDICウェブサイトで。

C. 協会活動(Industry Representation)

C.1 世界銀行・アメリカ開発銀行との協調の強化 (Enhanced Collaboration with World Bank and Inter-American DB)

アメリカンコンサルタンツ技術者協議会 (ACEC) の年次大会と同時に行われたFIDICのワシントン年次視察で、FIDIC会長のGeoff Frenchと専務理事のEnrico Vinklは、調達部門やインフラ部門、環境部門、公正管理部門など、数多くの銀行の部局と広く開かれた議論を交わした。銀行の立場を明確にすると同時に調達や実行の改善策を提案するため、産業界から提起された銀行出資事業に関する多くの問題が取り上げられた。この議論の結果は、産業界と共有された。



毎年行われるこの相互の視察は、双方の主要な優先事項の更新の他、調達方針や手順、財政支援開発事業における金融危機の影響、環境変動・政治的腐敗・持続可能性などへの取り組みなどの共通の問題について議論する理想的な場として捉えられている。

また、6月にブリュッセルで行われたFIDIC/MDB会議や9月のソウルでのFIDIC世界大会への銀行の参加など、さまざまな相互行事も模索された。

C.2 FIDIC は UNEP のシンポジウムで都市について再検討 (FIDIC Rethinks Cities at UNEP Symposium)

リオデジャネイロで開かれる Rio+20 会議に多くの関心が注がれているなかで、FIDIC は建設業界のパートナーとの親密な協力を通じて、国連環境プログラム(UNEP)とともに、UNEP-SBCI (持続可能な建設や気候変動イニシアティブ)の特別シンポジウムで「都市の再検討」と題したヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合(EFCA)-FIDIC レポートを公表した。

シンポジウムでは、持続可能な開発の目的に沿うためには、先進諸国が環境に与えるダメージを大幅に減らす必要とのコメントがあった。一方の発展途上国では、環境に与えているダメージはそれほど著しくなく、管理しやすいので、持続可能な開発に近づきつつあるとコメントされた。

新しい UNEP の文書“グリーンエコノミーに向かって：持続可能な開発と貧困の撲滅への道筋”の中に提案されている一つの解決策は、評価を行う場合に利益の役割や重要性を考え直し、公共機関の資金をより柔軟に運用できるようにすることである。

C.3 FIDIC が支援して UNEP-GIREC が Rio+20 会議で立上 (Launch of UNEP-GIREC supported by FIDIC at Rio+20)

Francois Baillon が代表する FIDIC は、UNEP の「資源を有効に活用する都市の建設のための世界イニシアティブ」を立ち上げるために会議に参加し、記者会見では声明も出した。



このイニシアティブは都市における建造物、交通、水、廃棄物、エネルギーの問題に取り組み、都市化の問題により包括的なアプローチをとろうとしているので、コンサルティングエンジニア業界はこれを支持している。議論のなかでコンサルティングエンジニアは専門知識や経験を披露しつつ、これらの問題に対するさらなる持続可能なアプローチについて提唱した。この重要な事項は、9月にソウルで行われる FIDIC の世界大会でも講演され、討論される予定である。

D. イメージ (Image)

D.1 FIDIC 新しいウェブサイト開設 (New FIDIC Website Revealed)

FIDIC は新しいウェブサイトを立ち上げた。新しいウェブサイトでは、市場の要求と内部の効率化に対応して、書籍の購入や情報の共有、研修やその他の FIDIC の活動などのオンラインサービスを、より効率的で使いやすいインターフェースで提供している。是非、意見を寄せてほしい。



D.2 FIDIC100 周年記念賞のお知らせ (FIDIC Centenary Awards Reminder)

2013年バルセロナで開催されるFIDIC百周年祭の一環として、過去100年におけるコンサルティング・エンジニアリングの最高の功績を認定し賞賛する。そうすることで、FIDICの100周年を祝うとともに、コンサルティングエンジニアの業績やコンサルティングエンジニアが人々の生活になしてきた貢献を広く知ってもらおう。



賞の部門は以下の通りである。

1. 過去100年間の主要建築プロジェクト
2. 過去100年間の主要土木プロジェクト
3. 過去100年間の優れたコンサルティングエンジニア

賞への推薦はFIDIC会員協会が行う。推薦されるプロジェクトは会員企業により計画・設計されたものとし、国際的な認知度、技術の卓越性、革新性、耐久性、あるいは持続可能性といった多くの評価基準から判断される。賞への参加締切は2012年9月21日である。

詳細はFIDICのウェブサイトにて確認できる。

E. 公示 (Announcements)

E.1 ソウル会議で世界の持続性に関する報告書を発表 (Seoul Conference to Launch State of the World Sustainability Report)

持続的開発の中心である Cambridge 大学の Peter Guthrie 教授の指導のもと、世界中の FIDIC メンバーに関わりのある包括的な研究の準備が行われている。報告書は、実用的な手引きであるとともに、異なるプロジェクトの開発段階における全く新しい持続性の考え方や表現方法を提案する。これは、インフラ投資における意思決定を支援し、また、見識ある議論を促進する。

革新的な報告が、9月9日-12日のソウルでの FIDIC 世界大会で準備されており、社会が世界規模の変化に対するよりよい解決方法を求める未来に向けて、プロジェクトの発想や計画、また、遂行における新たなアプローチを説明することも狙いとしている。

環境技術や環境調達など、環境保全に関する市場の成長(韓国を含む多くの国に見られる)が中心となる。新たな政策に関するケーススタディや事例、また、開発プロジェクトの新たな手法に焦点が当てられ、環境づくりへの投資の未来についての議論を促進する。世界中からの参加者によって、持続的開発に関する新しいアプローチや経験、また、持続的な解決に向けてコンサルティングエンジニアが新化して主導的な役割を担う必要性について共有する。

75カ国から1000人が参加する。ソウルで開かれるコンサルティング産業における重要な機会は、世界中の有数のコンサルティング会社や数多くのその顧客、また、その他の関係機関にとっての追加的な刺激としての役割を担う。プログラムの詳細は www.fidic2012.org で参照できる。

[AJCE] AJCEからは約60名が参加します。大会概要は10月25日開催のFIDIC大会報告会で報告いたします。

報告会の案内・参加申込みはAJCEホームページ(info@ajce.or.jp)に掲載しております。

E.2 世界銀行は基礎的な調達に関する見直しを発表(The World Bank Announces Fundamental Procurement Review)

世界銀行は、開発に関する調達において、長い間主要な役割を担ってきた。その方針や手続きは時とともに更新(最近では2011年1月)されてきた。一方で、銀行の基礎的な調達モデルの大部分は20年間以上変わっていない。この期間に、世界経済や銀行が関与する国々の情勢、また、銀行のプロジェクトや活動の特性や範囲は大きく変化している。

世界銀行は、現在、その調達の実施方針について、大幅な見直しを行っている。この見直しは、変化する世界の中での新たな機会や課題に適応しながら、伝統的な長所の上で、銀行が開発に関する調達において、主導的な役割を担い続けることを可能するために考えられる政策の変更点を確認することにある。

大規模な外部の諮問機関として、International Advisory Group が組織され、FIDIC も参加の招待を受けた。Managing Director の Enrico Vink が FIDIC の代表を務め、全てのメンバーおよびその他の関係組織から情報を求める。全ての関連情報は、銀行の専用サイト <http://www.worldbank.org/procurement> で公開されている。

E.3 世界を魅了する FIDIC100 年祭(FIDIC Centenary Attracts the World)

産業の歴史において、このすばらしいイベントは、2013年9月にバルセロナで開催される予定であり、その計画は着々と進められている。このイベントでは、"Quality of Life Our Responsibility" をメインテーマに、人類が直面するグローバルな課題と、提携する組織とともに、それらの課題に対するより良い解決方法について会議する場が設けられる。

この会議の主要なパートは、丸 2 日間を通し、水、輸送、建物、エネルギー、環境、都市を含めた、我々の「生活の質」に興味のある、いくつかの国際組織と合同で行われる。また、金融、保険、法律、建設、建築に関する組織の参加も呼びかけた。

1 日目は、現在までに、なにをどのように達成してきたか、また習得したことについて焦点を当てる予定である。2 日目は、その後、社会のニーズと生活の質に対する、より良かつより持続可能な解決策を得るための協調的なアプローチについて焦点を当てる予定である。

また、バルセロナで提供される特別な催しなどを楽しみ、さらに交友関係を深めるような社交的行事も計画されている。詳細は、www.fidic2013.org 上で順次公開される。

F. 会員協会新着情報 (News from the Member Associations)

F.1 スイス 成功の 100 年(100 Years of Success in Switzerland)

高騰する市場環境の中で、2012 年の 5 月にスイス コンサルティング・エンジニア連合(USIC)は 100 周年の記念を迎えた。FIDIC からは専務理事の Enrico Vink が出席した。旧団体である ASIC はスイスのコンサルティング・エンジニアの利益を後援・発展させる事を目的に、1912 年にローザンヌで設立された。前世紀への祝賀のなかで、USIC は色々なプロジェクトを取り上げた。それは短編の記念映画や機関紙「USIC ニュース」の特別編、またエンジニアリングのテーマ毎に起用された芸術家の作品展示という形で行われた。

F.2 パレスチナにおける FIDIC の活動(FIDIC Active in Palestine)

パレスチナにおける FIDIC の、新しく選出された構成協会がラマラ初の FIDIC 訓練課程を 2012 年 7 月に実施する。そのテーマは「FIDIC の契約規定の実用的な利用について」である。詳細と登録については FIDIC ウェブサイトの「The Event」を参照のこと。

F.3 韓国 技術実習制度の拡大(Korean Training Programme Expands)

2011 年に広範に行われた FIDIC-KENCA 技術実習制度での成功を基に、FIDIC とその加盟協会である韓国コンサルティングエンジニア協会(KENCA)は、2012 年の計画を更に拡大し、人的資源、財務、誠実さ、持続可能性およびコンサルタント企業へのリスクマネジメントというより広範な FIDIC の訓練モジュールを追加した。この過程の一環として、FIDIC はまた韓国人の資格指導者を評価および認定した。認定された指導者は、彼等独自の権限において訓練を請け負う事が可能となる。

F.4 ポーランドにおけるリスク管理(Risk Management in Poland)

ポーランドのコンサルティングエンジニア協会である SIDiR は、リスク・マネジメントに関する国際会議を計画しており、その会議は 2012 年 10 月 18, 19 日にワルシャワで開催される予定である。詳細は SIDiR ウェブサイト (www.sidir.pl) 上で発表される予定である。

F.5 オーストラリアの建設環境と議会の会合(BEMP)(Australian Built Environment Meets Parliament)

BEMP は、オーストラリアのコミュニティとそれらの建設環境の関係を紹介する国会議員と業界リーダーの間で毎年行われる対話である。それは、国の繁栄に影響を与える経済、社会、環境、ガバナンス問題を探る機会を提示する。このイベント(6 月下旬開催)は、業界団体によって共催される。詳細は Consult Australia, オーストラリア建築家協会, オーストラリア計画研究所, オーストラリア不動産協会, オーストラリアグリーンビル協会に問い合わせて下さい。

F.6 FIDIC 賛助会員、Dar Al-Handasah Consultants の拡大(FIDIC Affiliate, Dar Al-Handasah Consultants expands)

Dar グループ(レバノンの国際的設計・プロジェクトマネジメントサービス業)は、英国本拠のコンサルティング会社 Currie & Brown を取得した。「この取引により原価管理、プロジェクト管理、建物測量、PFI/PPP サービス、資産管理および他の関連する顧問業務等の特定の専門知識を持った才能のある人間の大量の加入が Dar グループに加わることになる。」と Dar グループ会長兼 CEO の Talal Shair 氏はコメントした。Dar グループは 1985 年に設立され、現在 44 か国 169 のオフィスで 13,000 人が働いている。Dar グループはアメリカ、ヨーロッパ、アフリカおよびアジアといった重要な市場で一流の設計およびエンジニアリングコンサルタント業も行っている。

以上